



# 新刊案内



『 <b>国王の受難</b> 』 茅田 砂胡／著 中央公論新社 T／カス
『 <b>火持りの王</b> 』【外伝】 日向 理恵子／作 ほるぷ出版 T／ヒリ
『 <b>社会保険労務士になるには</b> 』 池田 直子／著 ペリかん社 T366／イナ
『 <b>司書の一</b> 日』 WILLこども知育研究所／編著 保育社 T366／クラ
『 <b>るるぶ宇宙</b> 』 林 公代／監修 JTBパブリッシング T538／ルル
『 <b>イラストでわかる武士の装束</b> 』 樋口 隆晴／執筆 監修 玄光社 T726／イラ
『 <b>マステで素敵にアレンジ 楽しいギフトと飾りつけ</b> 』 森 珠美／作品 メイユニバ - салコンテンツ T754／モタ
『 <b>タヌキとキツネの英会話</b> 』 アタモト／原作 イラスト リベラル社 T837／タヌ
『 <b>百一</b> 』 こうの 史代／著 日本文芸社 T911／コフ
『 <b>緋弾のアリア</b> 』【36】 赤松 中学／著 KADOKAWA TB／アキ
『 <b>竜殺しの過ごす日々</b> 』【1】 赤雪 トナ／著 主婦の友社 TB／アト
『 <b>異世界千ト魔術師 (マジシャン)</b> 』【15】 内田 健／著 主婦の友インフォス TB／ウタ



**ティーンズのココロ通信** 山口市立中央図書館 219号

令和4年 3月 1日 発行 〒753-0075 山口市中国町7-7

TEL: 083-901-1040 FAX: 083-901-1144

Eメール: info@lib-yama.jp



# 人形



暖かい春の訪れを感じる3月になりました。  
3月は、女の子の成長を願う「ひな祭り」、  
「卒業式」や「修了式」と様々な行事がある月  
ですね。 今月のココロ通信のテーマは、  
【人形】です。うさぎやコアラ  
テディベアの人形が登場する  
物語を楽しんで下さい。



### ●『愛をみつけたうさぎ エドワード・テュレインの奇跡の旅』

ケイト・ディカミロ／作 ポプラ社 TF／テケ

エドワード・テュレインはアビリーンのために作られた陶器のうさぎの人形。アビリーンは毎日エドワードの世話を焼き、愛情を注ぐ。しかし、傲慢さ故に愛がわからないエドワード。

ある時、二人は離れ離れになってしまう。独りぼっちになって初めて、今まで気にも留めなかった人の心や愛について考えるようになる。愛とは一体何なのだろう？アビリーンは今どうしているだろう？長い旅の果てにどんな答えが待っているのだろうか。(S. O)

### ●『ゴールドイーのお人形』

M. B. ゴフスタイン／作 すえもりブックス T726／コエ

ひとり暮らしの女の子ゴールドイーは両親が残した人形を作る仕事をしていました。ただ人形を作るのではなく、森に落ちている木の枝で「生きてる」と感じたものを使い、ひとつひとつ心をこめて作っていました。

ある日、ゴールドイーがいつも行くお店にとてもきれいな中国のランプがありました。家を買って帰りましたが、高価すぎて手放そうと思うようになりました。その時、ゴールドイーは物作りに対しての思いに気がつくのです。(H. T)

### ●『ぼくのまつり縫い 手芸男子とカワイイ後輩』

神戸 遙真／作 偕成社 T／コハ

てのひらサイズの可愛いクマの人形を作るのは、手芸部所属中学2年生の針宮優人。男の子なのに手芸好きなんて「へん」、「普通じゃない」と思い込んでいます。

三人だけの手芸部に、待望の1年生が入部しますが、新メンバーを加えての活動の中で、良好なチームワークを築けません。優人は、自分の気持ちを伝え合うことの大切さ、他人を受け入れることの難しさを感じます。

巻末にクマの型紙と作り方も掲載されていますので、良かったら挑戦してみてくださいね。(Y. O)

### ●『テーブルの下のアンネ』

ソフィー・ミロー／作 くもん出版 T949／ミソ

薄暗くあたたかいテーブルかけの下は、アンネの特別な場所。一緒に入れるのは、大好きなお人形さんだけ。病気の母、忙しい父。孤独からテーブルの下で人形と二人きりで空想にふけるアンネ。

ある日、お父さんが雇ったお手伝いのおばさんがやってくる。お気に入りのお人形にそっくりなおばさん。優しい彼女に、あんなお母さんがいたら、とまた空想する。

著者の実体験をベースに、空想に逃げることをやめ、現実に向かう少女を描く。(S. O)

### ●『さよなら、ムッシュ』

片岡 翔／著 小学館 /カシ

校正の仕事をしている主人公の森星太郎は、母が作ったコアラのぬいぐるみ、ムッシュと暮らしていました。そのムッシュは母が亡くなった日にしゃべりだしました。周りには知られないように生活をしていましたが、星太郎のしゃっくりがとまらなくなったことで母と同じ病を患っていることがわかり、日常が変わってしまいました。

星太郎とムッシュのお互いが思い合っている姿や、二人だけの大切な時間が微笑ましく、時には切なくなるお話です。(H. T)

### ●『ワルシャワの日本人形 戦争を記憶し、伝える』

田村 和子／著 岩波書店 T234／タカ

ポーランドの首都ワルシャワにある、パヴィヤク監獄博物館には、一体の日本人形が展示されています。オペラ『蝶々夫人』を観劇することが楽しみだった親日家のカミラ・ジュコフスカが作ったものです。

第二次世界大戦がはじまり、祖国愛に燃えレジスタンス運動に身を投じた彼女は、逮捕され収監されます。日本人形を制作することで、自身の精神状態を維持しようとするカミラ。華やかな時代を思い出しながらの制作は、生きることへのたったひとつの希望の光でした。(Y. O)